



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(6月号)

大手靴小売業の決算情報

FW誌(フットウエア・プレス誌)5月号に大手靴小売商の決算が掲載された。ここに紹介させていただきます。

◎チヨダ

増収増益、5期ぶりに黒字化
チヨダは4月19日、都内で2月期の決算説明会を開催し、経営状態の報告と今後の重点施策を発表した。

☆当期の経営状態

24年2月期の売上高は771億円となり、前年比で4.7%を達成。

営業利益は14億円となつて、前期の16億円の損失から増収増益、5年ぶりに黒字となった。

部門別売上では「子供」を除く各部門が前年を上回った。特に「紳士」は10.8%増と2ケタ増に。

立地別では「駅前・駅近」と「中型SC」が好調。「駅前・駅近」は14.3%増と盛り場立地での善戦が目立った。

出退店の状況は全業態で8

決算情報

◎ジーフット(アスビー)

減収減益も赤字幅は圧縮
70店の不採算店の整理完了
ジーフットは4月11日、都内で24年2月期の決算説明会を開催し、23年度の経営状態の報告と24年度の重点施策を発表した。

☆当期の経営状態

24年2月期の売上高は646億円となり、前期比で1.7%減となった。既存店の売上は5.5%増となったものの不採算店の70店を閉店したことと減収となった。

営業損失は10億円、経常損失13億円、純損失は17億円のいずれも赤字となったが、営業損益は赤字を38億円圧縮している。

また、コスト削減に取り組み、販売費および一般管理費は前期から6.8%減の21億円減少し、赤字幅は圧縮した。

部門別売上では「スポーツ靴」は4.9%増と伸びたものの、ほかは前年を下回った。特に「婦人」は9.8%減と一

割近く下げている。出退店の状況は、今後の成長が見込めない70店の不採算店を整理し、アスビーブランド統一を目指した12店舗を出店し、当期首差58店舗減となり、グループ全体の店舗数は653店舗(単体では646店舗)となった。

☆**今期の業績予想**
今期の重点施策では

①事業構造改革

アスビーブランドによる統一。23年度63店舗のアスビー化改装実施。アスビー化で売上高9%、粗利益率は0.7%アップした。24年度のアスビー化店舗の売上構成比を75%に。

②MD構造改革

23年度は投入アイテム数をこれまでの7割に削減、1アイテムの発注量は1.4倍に増加した。

今期はPB商品の拡大、売上構成比35%以上に。

新たな仕入れ先の開拓。

MDシステムを本格導入、在庫統制を単品管理へ移行。

商品回転日数1000日を水準に商品在庫の適正化。

③組織・コスト構造改革

強い専門店を支える現場起点組織の実現。

フレックス店長の積極登用。

営業組織のフラット化。

フィッティングアドバイザー制度の活用、販売力強化。

④EC事業の成長と拡大

アプリ×EC×店舗スマートフォン連携で販売機会ロスを撲滅。

◎ABCマート

79店出店2ケタの増収増益

当期連結業績は、売上高は344.2億(前期比18.7%増)となった。利益については、都心部大型路面店の売上げ回復が寄与し、営業利益は55.6億円強(同31.6%増)、経常利益は57.8億円強(同33.4%増)、当期純利益は40.0億円(同32.2%増)となった。店舗展開については国内外合わせて79店舗の新規出店を行い、70店舗の改装を実施し、店舗数は1487店舗。

販売戦略では、昨秋以降、日本、韓国、台湾、ベトナムの4か国で新作を同時リリースするなどグローバルに展開した。商品展開としては著名なアーティストとのコラボ企画による新作スニーカーやカジュアルシューズ、アパレルの販売に注力した。店舗展開では、郊外のSCを中心に45店舗の新規出店、トレンドアイテムとスポーツアパレルの拡充を図るため「GRAND STAGE」や「ABC-MART SPORTS」の出店を拡大した。

これらの結果、期末の国内店舗数は1095店舗となる。また、既存店の35店舗を増床改装、27店舗を業態変更した。

20、改装30となり「厳選した出店、不採算店の閉店」を掲げ、今期の重点施策では「成長に向けたマイノリティチェンジ」をキーワードに①PBの



理事会・支部連絡会

令和六年五月二十九日(水) 午後二時、西村記念ホール

出席者15名

司会の矢代副会長より理事会の開始を告げ、栗原会長が「昨日は雨でしたが、いよいよ梅雨の季節が近づいております。この業界は雨が降れば靴の傷みにも気づき、買い替えを考える等すべてがマイナスではないと思います。また最近ではインバウンドの方々も多くなり、買い物をしていただければ良いことだと感じています。」

話は変わりますが、免税のシステムが変わるそうです。ヨーロッパで取り入れられている方式で、店で買い物をした際、文章を作成しサインをもらいレシートを添付、出国の際に税関で認め印を押印し投函し届いてから還付されるようなシステムだそうです。実施は来年末とまだ先のようにですが、クレジット販売等キヤッシュレス販売も簡素化されるとありがたいと思っております。近年免税の売上も目立って多くなってきましたので、個店でも時代の波に乗っていただきたいと感じ

ます」と挨拶を行った。引き続き議題に移った。

一、靴まつり

応募はがきについて

松戸専務より、毎年9月に開催している靴まつりイベントは、各店舗にポスター及び応募はがき100枚以上をお送りしていただきました。次の総会で大型店舗の会費の変更が行われ、大型店も同じ基準となる予定です。201枚以上の葉書を配布していただける店舗には、追加分として1枚当たり30円で100枚単位3000円で販売することになりました。希望店舗は印刷の関係上、今回の理事会までに組合事務局までご連絡下さい、と説明した。

二、夏期レクリエーション

について

続いて松戸専務より、会員の高齢化や閉店などに伴い例年行ってきた夏期レクリエーション日帰りバスの旅は参加者が減少しています。そこで、この事業を見直した方が良くとの声があります。都内で食事会を行うなどの案もあり、レクリエーションの在り方について今後検討していきたい、と話した。

三、シューフィッター

養成講座について

木内副会長より説明。FHAに移管して行っているシューフィッター養成講座は、今回は6月11日～13日まで神

戸で開かれます。次の東京での開催は7月10日～12日までとなります。東靴協会経由で申し込むと補助が出ますので、お早目に事務局までお申し込み下さい、と説明した。

四、理事会日程について

今後の予定では水曜日の開催が多いため水曜の都合が悪い方は参加できない。ランダムに変更しては、との提案がありました。

曜日で決めると同じ事が起こる可能性があるため、以前の原則23日開催に則り、この日の前後で決めては、との意見もあり、検討した結果6月は変更せず26日(水)に、7月は23日(火)、8月は23日(金)、9月は26日(木)、10月は23日(水)、11月は25日(月)、12月は19日(木)に開催することになった。

戸で開かれます。次の東京での開催は7月10日～12日までとなります。東靴協会経由で申し込むと補助が出ますので、お早目に事務局までお申し込み下さい、と説明した。

五、その他

事務局清水氏より神田法人会からアフラックの団体保険に加入をすすめると掛け金がかかるのと説明を受けたと報告したが、保険はそれぞれで加入しているのでは、との意見が出た。続いて総会に先立ち、参加できない方は委任状の提出を要請した。

次に永年勤続者の表彰のため、5年以上勤続者、10年以上の勤続者がある店舗は連絡ください。また、会員向けの各案内や連絡は今後メールを基本とし、補助としてFAX

での案内も行う予定。メールアドレスのある方は連絡してほしい、とお願いをした。最後に各委員会の開催予定を報告し理事会は終了した。

百貨店・復調気配

百貨店の2月の売上が昨年対比で三越伊勢丹26.4%増、大丸松坂屋のJフロントが21.8%増、高島屋17.5%増、阪急のエイチツーオーが24.7%増となり絶好調。

訪日客の高額品に加え、春物アウトター・革小物・化粧品などが好調だった。しかし大都市の繁華街と地方の格差が凄まじく、地方百貨店は郊外大型SCや通販の影響で閉店が続き、中心商店街もシャッターが目立っている。

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移

GWの連休は、天候に恵まれ好調に推移した。商品ではPBの「フワラク」の新シリーズや低単価スニーカー「PEP SI」が好調だった。(チヨダ) 都心部路面店や商業施設を中心に好調に推移。気温の高いい日が続くサンダル等夏物商品が好調。(ABCマート) 前半は気温が高くPBシリーズ商品が好調。後半は雨が多く梅雨対応商品が好調だった。(ジフット)

社名	3月	4月	5月	
チヨダ	既存店売上	7.2	6.2	7.6
	客数	-1.0	-1.9	-0.5
	客単価	8.3	8.2	8.1
ABCマート	既存店売上	10.7	6.5	6.2
	客数	2.3	-0.5	-0.7
	客単価	8.3	7.1	6.9
Gフット	既存店売上	7.4	-0.4	-0.5
	客数	-6.1	-13.3	-12.1
	客単価	14.3	11.9	13.3
	店舗数	646	646	644

(昨年同月対比%)

東京都中小企業景況調査(4月)
業況：再び上向き
見通し：改善期待に一服感

卸売業			業況				
対象数	回答数	回答率	4月		今後3か月間見通し(当月比)		
875	364	41.6%	悪い	良い	悪い	良い	
			-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服						
	2. 婦人・子供服						
	3. 靴・履物						
	4. かばん・袋物						
	5. 装身具・身の回り品						

小売業			業況				
対象数	回答数	回答率	4月		今後3か月間見通し(当月比)		
875	342	39.1%	悪い	良い	悪い	良い	
			-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具						
	2. 男子服						
	3. 婦人服						
	4. 子供服						
	5. 靴・履物						
	6. かばん・袋物						
	7. 雑貨・身の回り品						
	8. 時計・眼鏡						
	9. ジュエリー製品						